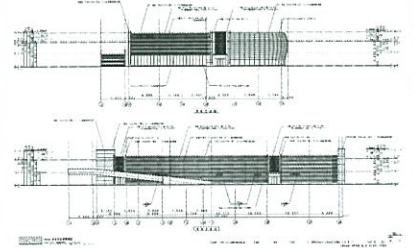


# CASBEE® 新築[簡易版]

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010(v.1.8)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)マルハン遠里小野店新築工	階数	2
建設地	堺市堺区遠里小野町一丁	構造	S造
用途地域	工業専用地域	平均居住人員	750 人
気候区分		年間使用時間	3,750 時間/年
建物用途	集会所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2013年7月 予定	評価の実施日	2013年8月1日
敷地面積	22,971 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社 オオキ建築事務所
建築面積	4,322 m <sup>2</sup>	確認日	-
延床面積	4,559 m <sup>2</sup>	確認者	-



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆☆ 100%超: ☆

標準計算

- ①参照値: 100%
- ②建築物の取組み: 88%
- ③上記+②以外のオンサイト手法: 88%
- ④上記+オフサイト手法: 88%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.4**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.1

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.3

**LR のスコア = 3.5**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		その他
総合		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
F☆☆☆☆の仕上げ材を採用 必要換気量に対して2倍、衛生法に対して1.8倍の換気能力を確保	内装計画と照明計画を一体と考え、事前に内観パースで検証している 屋内のについて、将来の改装などに対応できる自由度の高い設計としている	敷地内に植栽を設け、主に自生種の樹木を植えている 設計プロセス、維持管理に施設入居者が参加している
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
年間熱負荷係数 346.2 主な照明器具にLEDを採用 EER 9.1% 運用・維持・保全の基本計画が定められている	節水コマ、節水型便器の採用 断熱材の使用していない	燃焼機器を使用していない 風下となる地域の風通しに配慮している 雨水槽を設け、雨水の流出に対して配慮している 適切な駐車スペースの確保

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される  
 ■LCCO<sub>2</sub>の算定条件等については、「LCCO<sub>2</sub>算定条件シート」を参照されたい





1. 建物概要	建物名称	(仮称)マルハン遠里小野店 新築工事	BEE	BEEランク
	建設地	堺市堺区遠里小野町一丁	1	B+
	主用途/延床面積	集会所 / 4,559.23 m <sup>2</sup>		

2. 重点項目への取組み		
重点項目	評価点	取組み度
CO <sub>2</sub> 削減	3	● ● ● ● ●
省エネ対策	4	● ● ● ● ●
みどり・ヒートアイランド対策	3	● ● ● ● ●
安全快適な暮らし	4	● ● ● ● ●

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア				
CO <sub>2</sub> 削減		評価項目	スコア	評価点
地球温暖化への配慮		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値	3.4	3
省エネ対策		評価項目	スコア	評価点
外皮性能	CASBEE「Q1-2 2.1.3」のスコアによる評価値	建物全体	1.0	4
		住居・宿泊部分	0.0	
建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値	5.0		
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値	3.0		
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値	3.4		
効率的運用(集合住宅は対象外)	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価値	3.5		
水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価値	3.4		
みどり・ヒートアイランド対策		評価項目	スコア	評価点
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値	2.0	3
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価値	3.0	
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価値	3.0	
安全快適な暮らし		評価項目	スコア	評価点
バリアフリー計画		CASBEE「Q2-1 1.1.3」のスコアによる評価値	3.0	4
耐震・免震		CASBEE「Q2-2 2.1」のスコアによる評価値	3.0	
地域性への配慮、快適性の向上		CASBEE「Q3-3 3.1」のスコアによる評価値	3.0	
交通負荷抑制		CASBEE「LR3-2 2.3.3」のスコアによる評価値	5.0	

4. その他	
技術の名称	考慮事項
特に配慮した事項	